

# ★一点豪華主義★ 市民文化ホールを見直して

# いのち、くらし一番の市政へ

# 三好平の提案

市政対策委員長 みよし ひとし



身の丈に合わない一点豪華主義の市民文化ホールを見直し、税金を市民の命と暮らしのために。三好平は全力をつくします！

日本共産党

## とにかく豪華です

1回当たりの平均利用者(08年成果報告より)

- 三島会館大ホール 257人
- 川之江会館大ホール 195人

### ところが 市民文化ホールは…

- 大ホール1200人規模
- 小ホール300人
- 大小2つのホールに合計5つの楽屋
- オーケストラピット・奈落の設置等

### でも 他の自治体では…

多度津町民会館や丸亀アイレックスは1000~1100人規模で建設費は23~25億円。伊予市は建て替える文化ホールの規模を当初の600人規模から半分に以下に縮小する方針です。

## 市民文化ホール 見直しが必要なこれだけの理由

### 市財政にしわ寄せ

80億円の市民文化ホールと30億円の三島会館跡地利用。合併特例債(借金)を活用することで、費用の約3分の2が国から交付される予定ですが、そもそも国の財政状況が良くないため、きちんと約束されるかどうか、定かではありません。また、金利を合わせると150億円となり、国からの交付金を差し引いても市負担は約50億円にもなります。30年かけて借金を返済しますが、市の「財政の長期見直し」では、悪いケースの試算として2020年度には財政が赤字となり、破たんが心配されます。

### 不合理な、ため池の利用

「ため池は不要」と言いながら、別に水源の確保を所有者からは求められています。この不合理を、市民にどう説明するのでしょうか？

### 市民合意がありません

市民文化ホールを「四国中央市のシンボル」(井原市長)と強調するなら、市民合意はなおさら不可欠です。しかし市民に対しては、古井池周辺の住民に対しての説明会しかありません。

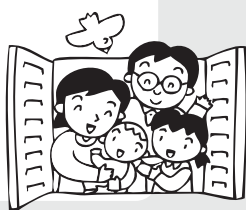
メスを入れれば、予算を生み出せます

## 国保料1人1万円引き下げ

県下の自治体で一番高い国保料。年間約2億円のやりくりで1人1万円の引き下げが可能です。また、生活実態に即した減免制度の確立を求めます。

### 福祉・医療分野で

- 介護保険料・利用料の引き下げ
- デマンドタクシーの改善
- 三島医療センターの産婦人科、小児科、外科、麻酔科を体制強化し、救急救命医療の実現



## 住宅リフォーム助成制度

住宅のリフォームに市が助成し、市民の快適な住環境づくりと、不況に苦しむ市内中小業者の仕事づくりを応援します。雇用拡大にも効果を発揮。

### 経済・雇用分野で

- 非正規労働解消と正規雇用の拡大。正社員が当たり前の世の中を
- 農産物の鳥獣被害対策を強化
- 商店街の活性化と大型店の出店規制



## 中学卒業まで医療費の無料化

日本共産党は一貫して子どもの医療費無料化制度の拡充を求めてきました。入院だけでなく中学卒業まで通院も無料化し、安心の子育て環境を整備。

### 子育て・教育分野で

- 学校の耐震化を促進
- 保育所の民営化反対 保育料引き下げ
- 人権対策協議会による学校教育への介入を許しません



## 災害対策

市には日本最大の活断層、中央構造線が走っています。防災無線の改善・確保や避難場所の見直し、防波堤・防潮堤の検証をすすめます。

### エネルギー分野で

- 伊方原発の廃炉と脱原発都市宣言
- 自然再生可能エネルギーの開発に市が独自計画を策定し、推進するよう求めます



市政から国に求めます

# NO! 消費税増税

# NO! TPP

(環太平洋連携協定)



# 三好平は市民のみなさんと

# がっちりスクラム!

三好平さんの、これまでも「これから書くもの。それは、「住民の立場に立って働く」という想いです。市民のみなさんの願いとがっちりスクラム!しっかりと働きます。

プロフィール●1952年、川之江町生まれ、59歳。川之江小、川之江北中、兵庫県立長田高校、関西大学工学部建築学科卒。関西大学在学中に日本共産党に入党。76年、旧川之江市役所に入職。旧川之江市職員労働組合執行委員長、旧川之江市・四国中央市自治体問題研究所会長など歴任。2011年、四国中央市役所退職。一級建築士。現在、党市政対策委員長、党東予地区委員。趣味は落語、散歩。四国中央市上分町1311-16在住。

## これこそ 市政を変える力です

### 信念 誰の立場で働くか、それが問題

35年間、自治体労働者として働く中でずっと大切にしてきた信念。それは「住民の立場に立って働く」ことでした。

「そういう信念が持てたのは労働組合運動に参加したことが大きかったですね。住民本位で仕事をしようとするれば、県や市当局と対峙(たいじ)する場面も多々ありました。上司には煙たい存在だったと思います。」

三島病院の移譲問題は、自治体が市民の命を守る立場を貫くかどうかで問われた大問題でした。市長がハッキリ「移譲NO」を言わない中、在職中から市民とともに三島病院を守る運動に参加したのも、信念の現れでした。



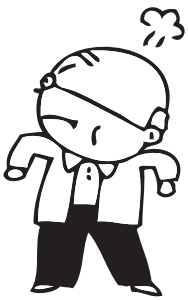
### 「改革」という名の 住民サービス切り捨て

財界が言いだし、自民・公明政府が始め、民主党政権が引き継いだ自治体リストラ・「構造改革」。給与引き下げと人減らしのねらいは、▼住民サービス部門の後退▼官と民の労働者の間で賃下げ競争▼公務員の賃下げを理由とした、国民・住民への増税への地ならしです。

三島病院の移譲もその一環。「改革」によって結局、診療科目が大幅縮小され、住民にしわ寄せされています。

### 井原市政の8年間に...

- 2年連続国保料値上げ
- 下水道使用料値上げ
- 市役所手数料値上げ
- 保育所民間委託
- 賃金・補助金カット
- 超豪華な市民文化ホール推進



### 即戦力 経験と知識を市民みんなのために

三好さんが実現をめざす施策の一つが住宅リフォーム助成制度。全国330の自治体、県内では宇和島市や愛南町が実施中です。実現を求めて各地の施策を研究、在職中から署名運動に奔走し、3818人の署名を市に提出。昨年の6月議会で趣旨採択されています。

「市民の快適な住環境づくりを応援することと一体に、中小業者を応援する制度です。全国で実績は豊富で、仮に1億円の助成予算を組めば、数億から数十億円のお金が市内で動き、中小業者の仕事と雇用が増えるサイクルが生まれます。大型の箱物建設は、市外県外のゼネコンなどが請け負ってしまうので、中小業者はうるおいません。署名に賛同した業者さんからは、『ぜひやってもらいたい』と、激励の声が寄せられています。」



### 決意 言うべき事を言ってこそ、市民の代表

日本共産党のアンケートでは、9割の方が「生活が苦しい」と回答。国の政治のひどさもありますが、井原市政の8年間も決して無縁ではありません。

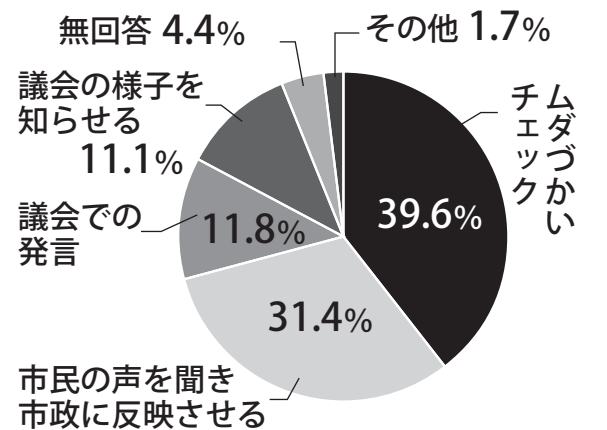
合併前の駆け込み事業に113億円を投じた結果、財政危機を理由に市民にがまんを押し付け、いま豪華すぎる市民文化ホールを強引に進めようとしています。一方、市政をチェックする役割を市民から託された市議会は、共産党以外、井原市長の「オール与党」で、市長提案になんでも賛成です。

「市長と市議会の間には緊張感がありません。市民の負託に応えるためにも、言うべきことを言う議会こそ。市民のみなさんと心一つに頑張ります。」



### 市議会議員に望むこと

日本共産党のアンケートより



これは、三好平さんにがんばってもらわねば!!



日本共産党 四国中央市議団

私たちもがんばります



三谷つぎむ



青木永六



鈴木りょうすけ